



明化の教育

3月号 (第465号)
平成31年2月28日
文京区立明化小学校
校長 溝畑 直樹

それぞれの出発へ - 巣立ちゆく6年生 -

校長 溝畑 直樹

しゅっぱつ 工藤直子

むねをはって つんつん青空をつつき 風船はいうのだ
ぼく これから「この世の果て」に いったるからね
あんた なかないで ぼくを待っててね

わかれる というのは… 手をはなす というのは…
じつにじつに おずかしいなあ と
風船の糸のはしを握りしめるのだが
風船には風船の言い分があるのだ きっと

だから わたしは さびしいけれど元気よく
いっておいで! と手をはなす

かなしみだって
空に浮かべば光ってくるさ



6年生は間もなく卒業の時を迎えます。どこまでも穏やかで、どこまでもやさしく、力ではなくその立ち居振る舞いで、知恵で、明化をリードしてくれた6年生。展覧会作品「スタンドアート」のように輝く世界に向かい、「ちぎり絵」に込めたチームワークと粘り強さを大切に、力強く自らの道を歩んでいってください。さびしいけれど、つないだ手をはなします。これまで本当にありがとう。さようなら。

学校の決算書ともいえる「学校評価」がまとまりました。保護者・地域のみなさまには、学校評価に対しご協力をいただき、ありがとうございます。本校の教育活動については、95.9%の方から「満足」とご回答をいただいております。来年度から本格的に始まる校舎改築工事を控え、保護者・地域のみなさまと学校との信頼関係はこれまで以上にその重要性を増していくものと考えます。また、器楽部や俳句創作、多様な体験活動など「特色ある教育活動」についても99%以上の保護者から「満足」との回答をいただいております。一方「返事、挨拶、ありがとう、後始末」については引き続き指導の工夫が必要ですし、工事中の安全対策、児童の体力の維持・向上も大きな課題となってきます。これら課題に対する改善策も含めた学校評価の詳細については、別に文書で報告いたしますのでご覧ください。

次年度本校は明治7年の開校以来145周年を迎えます。受け継がれてきた伝統は大切にしつつ、新たな課題解決に向けては果敢にチャレンジを続け、しなやかで逞しい明化の子どもを育成して参ります。来る平成31年度も明化小学校にどうぞ変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間のご支援に心から感謝いたします。

祝 本校、大谷美奈子主幹教諭は、音楽科教育の発展に尽力されたとして東京都教育委員会表彰を受賞いたしました。大谷先生おめでとうございます。